

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：小山保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：中島 一美	定員（利用人数）：100名
所在地：〒226-0023 横浜市緑区小山町292	
TEL：045-933-2227	
ホームページ： <a href="http://yamayuri-kai.jp/">http://yamayuri-kai.jp/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 1980年5月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 山百合会		
職員数	常勤職員：21名	非常勤職員：17名
専門職員	管理栄養士 2名	社会福祉士 2名
	看護師 1名	幼稚園教員免許 2名
	栄養士 2名	調理師 2名
施設・設備 の概要	(居室数) 保育室8室、厨房1室、職員休憩室1室、医務室、事務室1室、予備室、ホール	(設備等) ・1歳児と2歳児の保育室の一部の床に神奈川県 の杉と檜の木材を使用している。 ・災害用の井戸水が設置されている。

### ③理念・基本方針

(経営理念) 女性が安心して子どもを産み育てられ、仕事と育児が両立できるような社会をつくりたい。そのような社会づくりに保育を通して貢献（支援）する
(経営方針) 次世代を担う子どもを育てます 常に保育の質の向上をはかります 保護者や関係機関と連携し、地域社会に貢献します
(保育目標) 子ども達が信頼できる大人集団になるために、すべての人と手つなぎの輪を広げます 子どもの身体づくりのために良い食事のあり方を目指します 子どもの五感を大切にし、生きる力の土台をつくります
(園目標) よく食べ、よく寝、よく遊ぶ子 強く、たくましく、思いやりのある子 自然の中で、のびのびと遊べる子

### ④施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"><li>・園周辺は竹林や畑が広がり、自然豊かな環境にあります。園の近くに畑があり、ジャガイモやサツマイモを育てています。園庭でもプランター等で夏野菜の栽培を行い、より身近な場所で子どもが自然に触れる環境を生かしています。夏には、幼児クラスはカブトムシの世話をしています。</li><li>・子どもの自己主張や発想力を受けとめ、生き生きとした育ちを大切にしています。</li><li>・園の立地である斜面を有効に利用できるようにローラー滑り台を設置しています。ローラー滑り台を使用する際にはアスレチックを使い、足腰が鍛えられるようになっています。</li></ul>
--

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年4月24日（契約日）～ 2021年1月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2016年度）

## ⑥総評

### ◆特に評価の高い点

#### ・恵まれた自然の中、子どもたちは様々な経験をし、のびのびと園生活を楽しんでいます

園の周囲には竹林や畑があり、豊かな自然に触れることができます。斜面を利用した園庭にはアスレチックや長いローラー滑り台があり、子どもたちが遊びながら足腰を鍛えることができます。園庭にはミカンやイチゴなど実のなる木が植わっていて、夏にはカブトムシやチョウチョなどの観察や飼育をしています。園庭の片隅では乳児が野菜や花を、近くの広い畑では幼児がサツマイモ、ジャガイモ等を育て、子どもたちは、野菜や果物の収穫をし、5歳児はタケノコ掘りも経験しています。収穫した野菜や果物を給食で食べたり、ジャム作りやスイートポテト作りなどのクッキングを楽しんだり、サツマイモのツルを利用したリース作りをするなど、自然を利用した様々な経験をしています。

恵まれた自然環境の中、子どもたちは保育士に見守られ、元気いっぱい身体を動かし、自然や食への関心を広げていて、のびのびと園生活を楽しんでいます。

#### ・職員は子どものためにという思いを共有し、子ども一人ひとりを大切にされた保育を実践しています

保育士は、クラスの話し合いや毎週のリーダー会議、毎月の職員会議で、一人ひとりの子どもの状況について共有し、連携して保育にあたっています。保育士は子どもの表情や態度、つぶやきなどで子どもの気持ちを汲み取り、優しく問いかけて子どもが言葉で表現できるように働きかけています。子どもの年齢や発達に合わせ、複数のものを提案して選択することから始め、徐々に子どもが自分の気持ちを皆の前で発表する場を増やしています。5歳児になると、子ども同士で自分の考えを話し合っって行事の内容を決めるなどしています。保育士は、子ども同士の関係性を見守り、発信が苦手な子どもに言葉を添えたり、発言できるように働きかけるなど、個々に合わせて対応しています。また、「チクチク言葉（傷つく言葉）、フワフワ言葉（言われると気持ちの良い言葉）」を用いて、お互いの気持ちを思いやることの大切さを伝えていきます。このような経験を通して子どもたちは人の話を聞くことや思いやりの大切さ、様々な人がいて様々な考え方があること、などを学んでいます。

### ◆改善を求められる点

#### ・保護者が園への理解を深められるような、発信の方法のさらなる工夫が期待されます

園は、送迎時の会話や個人面談などで保護者と子どもについて情報交換しています。また、クラス懇談会や保育参観・保育参加などを行い、保護者が園の取り組みを理解できるようにしています。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、保護者参加行事やクラス懇談会などが中止になり、子どもの受入れもテラスで行っているため、保護者が保育の様子を見る機会が少なくなっていて、保護者アンケートでも園の取り組みが正しく伝わっていないのではと思われる記述も見られます。新しい生活様式に合わせた保護者への発信方法を工夫し、保護者に積極的に情報提供していくことが期待されます。

#### ・職員間での情報が迅速に共有できるためのさらなる工夫が期待されます

本館・新館に分かれているという構造上の問題もあり、他のクラスの様子が見えにくく、情報もすぐに伝わりにくい状況にあります。園としても毎週職員会議を実施したり、連絡ノートを用いるなど工夫していますが、非常勤職員を含めた全職員対象の会議等はシフトの関係もあり難しい状況があります。子どもの状況だけでなく、事業計画や園の目指す方向性などの運営の情報など、情報を迅速に共有できるさらなる取り組みを工夫していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント (50字×12行=600字以内目安)

今回、第三者評価を受審し、各項目ひとつひとつを振り返ることにより、日々の保育や業務の意義、目的について、多くのことに気付くことができました。指摘していただいたことにより今後の課題を明確にすることができたのでとてもいい機会になりました。

保護者の皆様におかれましては、お忙しい中保護者アンケートにご回答いただき有り難うございました。

ご意見・ご要望いただいたことにつきましては課題を挙げ、一つ一つ改善していきたいと考えています。

- ・外部からの不審者侵入を防ぐ対策
- ・古くなった備品の買い替え
- ・日中のお子さん達の様子をお伝えする新たな取り組みを行う
- ・園内研修の様子をお伝えする

など取り組みを進めているところです。

まだまだ目を向けていかななくてはならないことは、多々ありますが、保護者の方々と子どもたちの育ちを喜びあえる関係を築いていき、子どもの最善の利益を守るために、保育の質を高めていけるように日々取り組んでいきたいと思っております。

小山保育園

園長 中島 一美

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり